

## 中長期の宇宙研究開発の推進方策の検討について（案）

令和 8 年 4 月 9 日  
研 究 開 発 局  
宇 宙 開 発 利 用 課

### 1. 概要

宇宙開発利用部会は、2012 年の設置から本年で 15 年目となり、昨年末には開催回数も 100 回の節目を迎えた。この機会に当部会設置からこれまでの審議経緯を振り返るとともに、「宇宙開発利用部会(第 13 期)の調査審議について」に基づき、個別プロジェクトの調査審議に加えて、文部科学省が宇宙開発利用に取り組むに際しての基本方針等について集中的に議論する。具体的には、近年の諸外国の宇宙政策の動向や国内の宇宙戦略基金の取組状況等を踏まえ、拡大する宇宙開発利用への対応について議論した上で、**宇宙基本計画の改定に向けた検討に資するエビデンスを提供することを主たる目的**とし、本年夏頃までに集中的に議論し、**中長期の宇宙研究開発の推進方策のとりまとめ**を目指す。

なお、本とりまとめにあたっては、密接に関連する政策体系として、経済安全保障政策や科学技術・イノベーション政策の検討に係る議論を踏まえる必要があることに留意する。

### 2. 現状認識

- (1) 宇宙開発利用部会設置からこれまでの経緯 【参考資料集 P.2-P.11】
- ・宇宙基本計画の変遷
  - ・宇宙開発利用部会の審議状況
- (2) 拡大する宇宙開発利用 【参考資料集 P.12-P.15】
- ・宇宙市場と政府投資の拡大
  - ・民間事業者の参入
  - ・安全保障利用の拡大
  - ・宇宙戦略基金の進捗
- (3) 関連政策の直近の検討状況 【参考資料集 P.16-P.21】
- ・科学技術・イノベーション基本計画 【参考資料 104-4-2】
  - ・経済安全保障推進会議※経済安全保障法制に関する検討含む 【参考資料 104-4-3】
  - ・日本成長戦略会議（航空・宇宙 WG） 【参考資料 104-4-4】

### 3. 検討事項

- (1) 我が国が目指すべき研究開発の方向性
  - ・JAXA プロジェクトの現状(基幹ロケット、大型衛星、有人と圧ローバ、宇宙科学)
  - ・国としてのビジョン(研究開発の目的)の明確化
  - ・民間資金を含む外部資金の活用
  
- (2) 我が国として保有すべき技術群
  - ・技術優位性・経済安全保障の観点（宇宙技術戦略のレビューを含む）
  - ・次期基幹ロケット（「革新的将来宇宙輸送ロードマップ」のレビューを含む）
  - ・限られたリソースの中での優先順位付け（官民の役割分担を含む）
  
- (3) 中核機関としての JAXA の役割
  - ・航空・宇宙 WG の議論（「JAXA 強靱化」）
  - ・研究開発、受託事業、民間支援
  - ・人材育成、広報・理解増進、国際協力
  
- (4) 2040 年頃を見通した「中長期の宇宙研究開発戦略」
  - ・JAXA 技術ロードマップ（輸送、衛星、科学・探査、共通基盤技術）
  - ・将来の宇宙研究開発の在り方（Civil-Defense、官民連携を含む）
  - ・KPI 設定の考え方

### 4. 今後の検討スケジュール

令和8年2月4日（第102回）	・主要論点について
4月9日（第104回）	・個別論点に関する議論① －基盤技術開発、将来宇宙輸送
4月下旬	・個別論点に関する議論② －科学・探査
5月頃	・個別論点に関する議論③ －衛星開発、軌道上サービス
6月頃	・個別論点に関する議論④ －横断的事項
7月頃	・骨子案について
夏頃	・中間とりまとめ（案）について ・とりまとめ（案）について
	（以降、継続的にアップデート）
	以上